

OIE(国際獣疫事務局)における BSEステータスの分類と貿易条件

ステータス	貿易条件
無視できるリスクの国 オーストラリア、ニュージーランド、 デンマーク等15カ国	①とさつ前後検査に合格 ②飼料規制が効果的に施行された日以降に出生した牛由来であること
管理されたリスクの国 日本、米国、カナダ、フランス、 オランダ等32カ国	①とさつ前後検査に合格 ②ピッシング等が行われていないこと ③特定危険部位(SRM)が除去されていること (SRMの範囲: 全月齢の扁桃・回腸遠位部、 <u>30カ月齢超</u> の脳・眼・せき髄・頭蓋骨・せき柱)
不明のリスクの国	①とさつ前後検査に合格 ②ピッシング等が行われていないこと ③特定危険部位(SRM)が除去されていること (SRMの範囲: 全月齢の扁桃・回腸遠位部、 <u>12カ月齢超</u> の脳・眼・せき髄・頭蓋骨・せき柱)

12

各国のBSE検査体制

	日 本	米 国	カナダ	EU	OIE基準
食肉検査	20ヶ月齢超 (これまで、 1200万頭程 度実施)	—	—	72ヶ月齢超 ※ ※ブルガリア、ルーマニアについては、 30ヶ月齢 を超える健康牛の検査を実施	—
発生状況調査(注1) (高リスク牛(注2))	24ヶ月齢以上の死亡牛等 (これまで 9万頭程 度実施)	30ヶ月齢以上の高リスク牛の一部	30ヶ月齢以上の高リスク牛の一部	48ヶ月齢超の高リスク牛 ※ 24か月齢 を超える牛の検査を実施している国あり	30ヶ月齢以上の高リスク牛の一部

(注1) BSEの発生状況やその推移などを継続的に調査・監視すること

(注2) 中枢神経症状牛、死亡牛、歩行困難牛などのこと

13

各国のSRMの範囲

部 位	日 本	米 国	カナダ	E U	OIE基準 (管理されたリスク 国)
頭部 (注)	全月齢の頭部 (舌・頬肉を 除き、扁桃を 含む。)	30ヶ月齢超 の頭蓋 (注)	30ヶ月齢超 の頭蓋	12ヶ月齢超 の頭蓋	30ヶ月齢超 の頭蓋
扁 桃		全月齢	30ヶ月齢超	全月齢	全月齢
せき髄	全月齢	30ヶ月齢超	30ヶ月齢超	12ヶ月齢超	30ヶ月齢超
せき柱 (背 根神経節を 含む)	全月齢	30ヶ月齢超	30ヶ月齢超	30ヶ月齢超	30ヶ月齢超
腸	全月齢の回腸 遠位部	全月齢の回腸 遠位部	全月齢の回腸 遠位部	全月齢の腸	全月齢の回腸 遠位部

(注)頭部の骨格、脳、眼などを含む部位のこと